

一般口演 17

臨床統計, 疫学, 社会歯科

2025年10月26日(日) 10:00 ~ 10:50 第5会場(福岡国際会議場 4階 411+412)

小室 暁(大阪口腔インプラント研究会)

O-2-5-6

鼻腔内および舌のClO₂洗浄前後による総細菌数測定経過

○坂本 智彦, 西山 晃司, 寺内 良平, 笠原 朋似, 増木 英郎, 竹内 俊介, 奥寺 元
一般社団法人東京形成歯科研究会

Changes in total bacterial count before and after ClO₂ cleaning of the nasal cavity and tongue.

○SAKAMOTO T, NISHIYAMA K, TERAUCHI R, KASAHARA T, MASUKI H, TAKEUCHI S, OKUDERA H
Tokyo Plastic Dental Society

I 目的: 感染症は, 鼻腔と口腔が主な感染経路となっており, 術前の清拭(消毒)が必要とされている. これらの器官の衛生状態や細菌数は上顎洞底挙上術やインプラント体埋入術の予後に影響すると推測される. しかし, 術前消毒による細菌数の変化や測定法は未だ確立されていない. 水道水にも応用されている二酸化塩素(ClO₂)はウイルスや細菌に対する殺菌効果を有するラジカルである. 本研究ではClO₂を用いて鼻腔内および口腔内洗浄を行い, 細菌数をポリメラーゼ連鎖反応(PCR: polymerase chain reaction)カウンターを用いて測定し, その変化を検出するとともに, 測定システムを確立して臨床の工夫をしていきたい.

II 対象および方法: 対象者は男性7名(30歳~77歳, 平均50.5歳), 女性2名(35歳~41歳, 平均38.0歳)であり, 微生物定量分析装置(口腔内細菌カウンタ NP-BCM01-A パナソニック株式会社 東京)で舌苔および左右の鼻腔粘膜の菌数測定を実施した. 舌背・左右鼻腔内の粘膜を綿棒で3回拭いDEPIM法により午前9時に測定, 洗浄液(ClO₂ Fresh バインメディカル株式会社 東京)でスプレイマシンで左右鼻腔および舌背を洗浄し, 洗浄後3時間ごとに3回測定し各測定値の平均値を比較検討した.

III 結果: 洗浄前の測定では鼻腔より舌背で細菌数が多かった(鼻腔右6.21. E+07, 鼻腔左4.05. E+07, 舌背3.45. E+08). また洗浄前に比較して洗浄3時間後の測定値が減少する傾向があり(鼻腔右2.75. E+07, 鼻腔左2.83. E+07, 舌背1.95. E+08). 6時間後では3時間後より増加するものの洗浄前より低い値となった(鼻腔右2.85. E+07, 鼻腔左1.25. E+07, 舌背7.78. E+07).

IV 考察および結論: 洗浄前, 洗浄3時間後, 6時間後の測定結果から, ClO₂洗浄には細菌数の抑制効果が認められた. これはサイナスリフト時の感染予防の一助になると考えられた.

(倫理審査委員会番号17000114承認 承認番号25301号)